

1	審議会名	第7回 塩田地域協議会
2	日時	平成22年9月16日 午後1時30分から午後4時05分まで
3	会場	上田市塩田公民館小ホール
4	出席者	石黒委員、伊藤委員、大口委員、甲田委員、小林委員、清水委員、関田委員、竹下委員、中村委員、南雲委員、西沢委員、南委員、峯村委員、宮沢委員、山極委員、若林委員、
5	市側出席者	宮川政策企画局長、近藤政策企画課長補佐、神林塩田地域自治センター長、志摩センター長補佐
6	公開・非公開等の別	公開
7	傍聴者	2人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成22年9月27日

協 議 事 項 等

1 開 会（神林自治センター長）

2 地域協議会長あいさつ

公民館部分は、不具合箇所が改善されて使いやすくなった。地域協議会は、7回を数え回を増すごとに活発になり、課題を一つ一つクリアして市全体の発展に結び付けたい。「地域まちづくり方針」の見直しは、市全体で統一した見直しをすることとなり塩田づくり、上田づくりに団体意見を活かしていきたい。

3 協議

(1) 第一次上田市総合計画「地域まちづくり方針」の見直しについて（諮問）

宮川政策企画局長から大口会長へ諮問書の手交

近藤政策企画課長補佐から「地域まちづくり方針」の見直しについての説明

（質疑応答）

（委員） 10月21日に地域別懇談会があるが、広報や資料の事前配布はあるのか。

（政策企画課） 広報については、10月1日号の広報に掲載するほか、有線放送を活用して周知する。資料については、事前に地域自治センターに用意をする予定である。時間は、午後7時から同9時を予定している。

（委員） 持ち物はあるのか。

（政策企画課） 特に持ち物はないが、筆記用具くらいあればよい。資料については、地域自治センターや協議会へ配布の上、ホームページへ掲載したい。

（委員） 参加については、正副自治会長が多いうえ団体もあるが、委員にも参加していただければありがたい。

（委員） 資料はどのようなものか。

（政策企画課） 資料は、総合計画の概要や前期の見直しが後期へ反映されるもの。総合計画の位置付けや「地域まちづくり方針」、地域の発展への意見など紙ベースで2枚程度を予定している。

（委員） 地域別懇談会の開催については、回覧文の配布を希望する。

（政策企画課） 自治会連合会において、許可が出れば進めたい。

（委員） 総合計画の、前期分に対する市全体の総括のようなものは説明されるのか。例として、塩田の観光だけを議論してもはじまらない。市の観光について、どうなるのか具体的なものを早く示してもらいたい。

（政策企画課） 市全体の項目については、審議会において審議する予定である。上田をハブとする考え方があり、審議会の中の分科会で検討することとなる。観光で言えば、観光ビジョンを進めることとしているが、必要であれば担当課に説明を求めることもある。

- (委員) 正副会長会においても、市全体の考え方について質問が出た。必要があれば、担当課を呼んで説明を聞いてもよい。7項目にこだわらず該当する項目があれば追加も可としていた。
- (委員) スケジュールとして地域協議会は、塩田地域のまちづくり方針について協議すればいいのか。まとめはどこですか。
- (政策企画課) 地域協議会では、塩田地域のまちづくり方針について協議をいただき答申は、市長が受けることとなる。審議会からは、後期基本計画に対する答申をすることとなる。
- (委員) 7項目から外れている団体等に関することもあるかもしれない。自分たちが考えていることを盛り込んでいくことになるので、団体や周囲の意見を聞いてきてもらいたい。
- (委員) 市への要望としては、具体的な要望や考え方を出してもらい、分かりやすいことばで表示してもらいたい。
- (委員) 「とっこ館」に関係することは、7項目に含まれているが塩田地域の背骨になるようなものが欲しいと思う。
- (委員) 達成状況が不安であるが、シートを見ながらしっかり考えていきたい。

(2) 総合計画審議会委員の選出について
協議の結果副委員長を選出することに決定した。

(3) 地域振興について(委員会報告)

ア 地域振興委員会

地域振興委員会の目標は、誰もが「塩田に住んでよかった」と思われる、「向こう三軒両隣」がいきづく地域であり、高齢者が、寂しく死亡することのないような安心、安全なまちづくりを目指したい。介護保険制度などにおいて、隙間にいる人々を支援、救援できるような地域づくりのために取組んでいきたい。各種団体と協議会(地域振興委員会)との協議や連携を図り塩田モデルをつくりたい。市社会福祉協議会には、「御用聞き」制度があるので、塩田地域にも同様なものを検討したい。各種団体に、課題等について聞いても意見が出てこない現状があるので、委員会から協議の場の設定について声を掛けていきたい。

- (委員) 近隣住民が、アパートなどに住んでいる人を知らない例があるので、良い考えだと思う。
- (委員) 自治会連合会と地域協議会による懇談会の設定は、「こんな時期に、なんでするんだ」という気持ちだったので失敗した。事前の準備や協議テーマの設定が、重要であった。社会福祉協議会塩田地区会は、規約もなく参加者も以前のままのものを引き継いだ、11月4日に住民会議の開催を予定している。
- (委員会) 自治会連合会との懇談会では、趣旨が自治会長に正確に伝わらなかった。多くの自治会では、副自治会長が次期自治会長となるので自治会連合会との関係を密にして、継続性を保ちながら連携を結び付けていきたい。同様に民生児童委員会とも連携を深めていきたい。
- (委員) 自治会連合会と地域協議会は、組織に違いがあり塩田の課題について分からない。地域協議会は、塩田の課題について協議してはっきりさせる所だと思う。自治会連合会は、協議会が集約した課題などについて解決のために行動するものと思う。
- (委員) 自治会連合会と地域協議会については、分けて考えるのではなく塩田全体でどうするのかについて協議すべきである。あまり慎重に考えるとよくないので、関係者間で協議することが重要である。
- (委員) 協議会の内容を住民に情報公開すべきである。(別所線電車存続アンケートなど)
- (委員) 地域協議会では、年2回の協議会だよりを発行している。委員には、自治会連合会の代表者もいるので、自治会連合会からも各自治会へ伝達して欲しい。
- (委員) 住民への伝達は、協議会からも行なっているが各団体からも行なって欲しい。

イ ため池活用委員会

「全国ため池百選」を機会に、住民にため池の有する重要性和多様な役割を再認識してもらい、保全と活用を図るための活動を行なうとしている。

ウ 地域交通委員会

「別所線電車存続期成同盟会」では、各駅において植栽や草刈などに関わっているボランティアが多数おり、感謝の気持ちを表したいと思っている。別所線電車存続について、住民負担は難しいが、本当に残すのであれば住民負担も必要である。沿線におけるボランティア活動について、市に対して広報を依頼しており 9 月 5 日には、東急沿線のボランティアと交流会を予定している。

エ 広報委員会

10 月 16 日に「協議会だより」を発行する予定で準備を進めている。

(4) その他

自由意見

(委員) 別所線電車存続アンケートにおいて、住民負担に理解を示す意見が 12%あったが、分母となる数値は何か。

(会長) 回収数値である。

(委員) 別所線電車存続運動においては、既に廃止された真田線、傍陽線及び丸子線の当該地区住民の意見を聞いてみてはどうか。

(委員) 「別所線電車存続期成同盟会」では、駅舎を利用して物資販売をしてはどうかなどの意見も出たが、残すためには、あらゆる可能性について考えてみる必要がある。

4 その他

特になし

5 閉会

* 会議概要は原則として公開します。会議終了後、1 週間以内に行政改革推進室へ提出してください。

* 非公開及び一部非公開としたものについては、その理由を記載してください。